

札幌 市民防災

第28号

令和5年3月31日
札幌市民防災団体連合会
発行責任者 田畑 隆二

令和4年度札幌市防災表彰式・ 札幌市自主防災講演会

札幌市防災表彰式

日時：令和5年1月19日（木）

場所：ホテルモントレエーデルホフ札幌13階『ベルヴェデーレ』

防災表彰を受賞された皆さま、改めましておめでとうございます。

札幌市防災表彰式は、地域での自主防災活動に率先して取り組み、模範となる活動を行った団体の功績を称えるものとして、札幌市が毎年行っています。過去2年は新型コロナウイルス感染症の

流行により、一堂に会する表彰式が開催されませんでした。今年度は10団体が秋元市長から直接表彰状を授与されました。

市長からは、「今年は関東大震災から100年の節目を迎え、防災について今一度考える年になる。「公助」だけでなく、「自助」と「共助」の取組が非常に重要な役割であるという過去の災害で得た教訓を意識し、安心・安全に暮らせる地域づくりの推進に引き続きご尽力いただきたい。」とのご挨拶がありました。



令和4年度 札幌市防災表彰団体

受賞団体

- | | |
|-----|---------------|
| 中央区 | 西連合町内会 |
| 北区 | 太平商工団地町内会 |
| 東区 | 北栄連合町内会 |
| 白石区 | 白石区菊水町内会連絡協議会 |
| 厚別区 | ラポールひばりが丘町内会 |
| 豊平区 | 福住北町内会 |
| 清田区 | 真栄第一町内会 |
| 南区 | アイビーハイム藻岩町内会 |
| 西区 | 八軒東和町内会 |
| 手稲区 | 手稲鉄北まちづくり協議会 |



札幌市自主防災講演会

講演：冬の自然災害にどう備える

講師：気象予報士・防災士・北海道防災教育アドバイザー 森山 知洋氏

札幌市民防災団体連合会では、地域における自主防災活動の取組みをより一層推進することを目的に、例年札幌市との共催で「自主防災講演会」を開催しています。

今年度は、季節柄「冬の自然災害」をテーマに、気象予報士や防災士として活動されている森山知洋氏を講師にお招きし、冬の札幌の気候の特徴や、近年の気象傾向、家庭での防災対策の重要性などについてお話いただきました。

冬の札幌には北西の風向きが多く、特に北よりの風が吹く際には札幌に雪雲が流れやすいことや、気象警報は危険な時間帯の3～6時間前に発表されることなどを学び、自助や共助に役立てたいと感じました。参加者からは、「勉強になった」「講演を聞いて良かった」との声がありました。



「自助」「共助」で防災に取り組みましょう

札幌市民防災団体連合会 会長 田 畑 隆 二

近年、日本各地で自然災害が多発し大きな被害が発生しています。今まさに、一人ひとりが備える「自助」・地域ぐるみの助け合い「共助」が重要となると思います。北海道は、特に冬季の大雪に付随する被害に対応するため、備えていく必要があります（停電対策、避難所の暖房対策、交通マヒ等）。当団体は、今後も札幌市危機管理局と連携を深め、札幌市の防災情報の提供や広報紙による自主防災事例の発信等、会員の皆様の地域防災力の向上の一助になるよう活動してまいります。

なお、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、当団体の総会を開催できず、会員の皆様にご迷惑をおかけしております。近々、会員の皆様へご一報するべき準備をしておりますのでお待ちいただきたいと思います。

会員の皆さまに置かれましては、新年度に向けて行事等の計画をされていることと存じます。今年も、安全で安心な住みよい地域づくりのために良い年でありますことを願っております。



教訓を糧にした体制づくり

ラポールひばりが丘町内会 会長 後藤 信輔

ラポールひばりが丘町内会は14階建て2棟の分譲マンションで形成されており、平成20年頃から防災活動に取り組んでいます。平成27年には、野外かまどと井戸を設置しました。その後、停電時でも14階まで給水できるよう、給水タンクに補助電源を設置し、全戸への給水を可能にしました。また、2台の発電機で災害本部となる集会室の電源を確保しながら、住人の携帯電話を充電するソケットも60個確保しています。このように、ハード面では過去から取り組んでいましたが、ソフト面では不十分であった為、昨年2月から意識改革の一環として防災リーダーを3名選出し、リーダー中心に防災対策の取り組みを強化しました。その結果、全戸へのアンケート実施、定期的な「防災だより」の配信、消火器の回転など、住人の防災意識の向上に貢献出来ました。今年度は、町内会役員と正副班長との連携強化を図り、災害時での具体的な取り組みの見直し、研修会・講演会・訓練の定期開催、「防災だより」の定期配信などにより、住民への意識向上に取り組んでいます。



地域の安全・安心のために

北栄連合町内会 会長 村井 啓一

この度、令和4年度札幌市防災表彰団体として、表彰を賜りましたことを心より感謝申し上げます。

北栄地区は、東区の中でも世帯数が多く、戸建て住宅に加え地下鉄沿線には高層マンションも立ち並び多くの方々暮らし地域です。

ここ数年は、コロナ禍で地域における防災訓練が実施できない状況ではありましたが、今年度、感染防止に努めながら明園中学校で実施された「東区防災訓練」に参加いたしました。

訓練では、同校の生徒さんも参加し、地域住民と一緒に、避難場所開設訓練や応急手当訓練、給水・給食訓練などに取り組みました。



また、連合町内会の新たな取組として、家庭や町内会での防災対策や、北海道胆振東部地震の際の被害の振り返りや避難所の様子などについて、写真やイラストにより分かりやすくまとめた資料を、防犯防災部役員が作成し「防災学習会」を企画、ブロックごとに計4回開催して地域防災力の向上を図ったところであります。

平成30年の北海道胆振東部地震を経験し、地域が協力し合い災害に備えることが大切だと考えております。今回の表彰を機に、今後もより一層地域の防災活動の推進に努めてまいります。

令和4年度 札幌市防災会議

令和4年11月29日、札幌プリンスホテル国際館パミールにおいて、秋元市長を議長とする「令和4年度札幌市防災会議」が開催され、会議の構成機関である札幌市民防災団体連合会も参加してまいりました。

札幌市防災会議は、防災体制の基礎となる「札幌市地域防災計画」の作成と実施を推進することを目的に設置されているもので、多くの防災関係機関が参加していました。

令和3年度の記録的な大雪経験から、大雪・雪害時の道路除排雪体制の整備や本部体制の強化など札幌市地域防災計画（雪害対策編）の修正についての議案が審議され、承認されました。



札幌市からののお知らせ

浸水ハザードマップの改訂について

これまで札幌市で作成していた洪水ハザードマップが「札幌市浸水ハザードマップ」として新しくなり、洪水に加えて内水氾濫の浸水想定区域も確認することができるようになりました。

令和5年3月までに市内全戸へ配布いたしましたので、ご自宅の浸水の危険度や避難方法などをご確認ください。

編集後記

本州からは、テレビを通して桜の花便りを見ることができ、大変嬉しくなります。新型コロナウイルスも日々少なくなり、会員の皆さま、今年こそは地域の行事が計画通りに進むようにと取組んでいることと思います。

団体の総会が実施できておらず、大変ご迷惑をおかけしております。新年度には、皆さまにお集まりいただき、各会員の防災の取組みなどをお聞きし、共有したいと思っております。

何かとお忙しくなりますが、健康には十分気をつけて、防災活動を頑張っていきましょう。

副会長 広報部長 渡辺 恵美子 FAX・TEL 011-851-9583番

印刷所 北晃社 齋加印刷所
札幌市西区八軒1条東5丁目
電話 011(631)1271